

食品安全関係情報( 10月4日 ~10月17日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要 (集計数は、今回/前回)

10月4日 ~10月17日 (前回9月19日 ~10月3日)		国際機関 WHO・FAO等 (5/5件)	北米 米国 (4/7件)    カナダ (6/0件)		欧州 EU、EFSA (17/20件)    各国 (19/19件)		大洋州 FSANZ等 (2/3件)	アジア 中国 (8/12件)    各国 (7/3件)		中南米等 各国 (1/0件)	その他 報道、論文等も含む (23/27件)
化学物質 (24/29件)	化学物質・汚染物質	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	食品添加物	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0
	農薬	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0
	動物用医薬品	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	器具・容器包装	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
	計	1	1	2	12	3	0	0	0	1	4
微生物・プリオン・自然毒 (28/25件)	細菌	0	1	2	0	0	2	0	0	0	1
	ウイルス	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	原虫・寄生虫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プリオン	0	1	0	0	3	0	0	0	0	1
	植物性自然毒	0	0	0	0	4	0	0	1	0	1
	カビ毒(マイコトキシン)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	動物性自然毒	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
計	2	3	2	0	8	2	1	2	0	3	
新食品等 (6/4件)	新食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	GMO	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0
	健康食品	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	アレルギー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クローン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	0	0	0	1	4	0	0	0	0	1	
肥料・飼料等 (4/4件)	肥料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0
その他 (30/33件)	表示	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射性物質	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0	1	1	3	0	7	5	0	5
	論文情報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	計	1	0	2	1	3	0	7	5	0	11
海外の食中毒 (0/1件)	細菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

## 食品安全関係情報(10月4日～10月17日収集分 92件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

### 【化学物質】

- ・世界保健機関(WHO)、ファクトシート「鉛中毒と健康」を更新
- ・欧州食品安全機関(EFSA)、食品中のアクリルアミドに係る意見公募の結果に関するフォローアップ会合について公表
- ・オランダ国立公衆衛生環境研究所(RIVM)、7～69歳のオランダ住民の食物中のアクリルアミド、硝酸塩、オクラトキシンAの摂取状況に関する報告書を発表
- ・論文紹介:「飲用水中の低レベルのヒ素の長期間暴露及び糖尿病の発症:食事、発がん及び健康の前向きコホート研究」

### 【微生物・プリオン・自然毒】

- ・米国疾病管理予防センター(CDC)、啓発資料「米国におけるエボラ出血熱に関する事実」を発表
- ・米国農務省動植物検疫局(APHIS)、12か月齢未満牛をBSEサーベイランスの検査対象から除外
- ・Eurosurveillance:「2012年8月から12月にオランダで発生したくん製サケに関連するサルモネラ・トンプソン大規模集団感染」
- ・英国政府、英国動植物衛生庁(Animal and Plant Health Agency: APHA)創設を公表
- ・スペイン農業食料環境省(MAGRAMA)、欧州における牛海綿状脳症(BSE)発生状況を更新、英国で1頭発生(2014年英国:1頭目)
- ・ニュージーランド第一次産業省(MPI)、エルシニア症の集団発生に関する情報を更新

### 【新食品等】

- ・欧州食品安全機関(EFSA)、遺伝子組換え体(GMO)のリスク評価へのラットのホールフード90日間反復経口投与毒性試験の適用可能性を説明

### 【その他】

- ・国際連合食糧農業機関(FAO)、「魚介類の安全性及び品質に関する評価及び管理:現在の慣行及び新興問題」と題するFAO水産業・水産養殖業テクニカルペーパー(2014年版)を公表
- ・欧州食品安全機関(EFSA)、
  - ・クロムの食事摂取基準に関する科学的意見書を公表
  - ・セレンの食事摂取基準に関する科学的意見書を公表
  - ・亜鉛の食事摂取基準に関する科学的意見書を公表
- ・カナダ保健省(Health Canada)、放射線モニタリングデータ及び日本における東京電力福島第一原子力発電所の事故による影響に関する情報を更新